TOPICS トピックス

東京都校友会会誌 『富士見』リニューアル

東京都校友会会誌『富士見』は昨年度まで見開き4ページの新聞スタイルを昭和45年9月の創刊号から数えて176号まで45年間続けてきました。しかし,各行事の内容や会員間の相互親睦を図るに掲載量の限界がありました。そこで小山理会長(55回)の強い要望もあり,今年度より紙面を一新し,従来の新聞形式より情報量を増した冊子形式に変更しました。予算の都合上,従来年4回(3・5・8・12月)に減少した代わりに4ページから16ページへと情報量を増加させました。

冊子化創刊にあたり移行準備期間 が不足していたこともあり、変更第 1弾のインパクトも踏まえ、2号合 併、32ページにすることによりさら

特別寄稿

に内容を2倍にして発刊しました。 題字『富士見』は、創刊当時学長で あった中原 實 先生の渾毫であり、 都校友会会報の紋章であり、校友会 の発展の表象でもあることから通算 号数とともに現行のまま踏襲しまし た。今回のリニューアルのポイント は、

- ・見やすさ
- ・情報量の増加
- ・会員相互の親睦

です。従来の記事は東京都校友会主 催の講演会や総会・賀詞交歓会など 記事や役員会の報告・案内、都校友 会会員からの自由投稿「富士見町へ ようこそ」で構成されていました。

今回から新たに、東京都校友会各 42支部にお願いしてそれぞれの現状 や活動を報告していただく「支部彩



支部彩記



表紙 (窓)

記」,保険部より「保険のいろは」, 役員会からの「おしらせ」,附属病 院からのアナウンス「附属病院から のおしらせ」を掲載しました。

また表紙を飾る写真を来年度より 広く公募してさらに会員間の相互親 睦を図っていきます。

これからも会員の皆様の躍動する 活動を校友会の発展の記録として進 化しつつ残し続けていくつもりで す。委員の皆様のご尽力に感謝し、 さらなる会員の皆様のご協力をお願 いいたします。

(東京都校友会 富士見編集委員会 中島 尚・85回記)



附属病院からのお知らせ・一筆啓上